

土木環境委員会記録

<第1号>

平成24年第2回沖縄県議会（臨時会）

平成24年5月17日（木曜日）

沖縄県議会

## 土木環境委員会記録<第1号>

---

### 開会の日時

年月日 平成24年5月17日 木曜日  
開 会 午前10時25分  
散 会 午前10時49分

---

### 場 所

第3委員会室

---

### 議 題

- 1 甲第2号議案 平成24年度沖縄県中城湾港（新港地区）整備事業特別会計補正予算（第1号）
- 2 甲第3号議案 平成24年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計補正予算（第1号）

---

### 出 席 委 員

委 員 長	當 山 眞 市 君
副 委 員 長	照 屋 大 河 君
委 員	新 垣 良 俊 君
委 員	嶺 井 光 君
委 員	池 間 淳 君
委 員	新 垣 哲 司 君
委 員	崎 山 嗣 幸 君
委 員	嘉 陽 宗 儀 君
委 員	大 城 一 馬 君
委 員	平 良 昭 一 君

委員 新垣安弘君  
委員 吉田勝廣君

委員外議員 なし

---

### 欠席委員

なし

---

### 説明のため出席した者の職・氏名

土木建築部長	当間清勝君
参事	北原政宏君
港湾課港湾開発監	村田和博君
港湾課計画調査班長	真栄里嘉孝君

---

○**當山真市委員長** ただいまから、土木環境委員会を開会いたします。

甲第2号議案及び甲第3号議案の2件を一括して議題といたします。

なお、ただいまの議案2件は、本日の本会議において本委員会に付託されております。

本日の説明員として、土木建築部長の出席を求めています。

まず初めに、甲第2号議案平成24年度沖縄県中城湾港（新港地区）整備事業特別会計補正予算（第1号）について審査を行います。

ただいまの議案について、土木建築部長の説明を求めます。

当間清勝土木建築部長。

○**当間清勝土木建築部長** 議案の説明に先立ちまして、去る4月1日付で人事異動がありました職員について、委員長の御了解を得て紹介したいと思いますので、よろしくお願いたします。

では、国土交通省から土木建築部参事に着任いただきました、北原政宏参事でございます。

○北原政宏参事 去る4月1日付で土木建築部参事を拝命しました北原政宏と申します。採用は旧運輸省の港湾局となっています。これまで、国土交通省の空港に関する整備事務所、鉄道局技術企画課等、交通インフラ関連の部局を歴任してまいりました。

これから、沖縄21世紀ビジョン基本計画に基づきまして、沖縄県の港湾と空港関連の施策を担当することとなります。県民視点に立った社会資本並びに生活環境の整備等に、しっかり取り組んでまいりたいと考えてございます。

委員の皆様のご指導、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

○当間清勝土木建築部長 では、議案について御説明申し上げます。

甲第2号議案平成24年度沖縄県中城湾港（新港地区）整備事業特別会計補正予算（第1号）について、その概要を御説明申し上げます。

今回の補正は、沖縄振興特別推進交付金を活用し、中城湾港においてコンテナの大型化に対応できるタイヤクレーンを整備するものであります。

平成24年第2回沖縄県議会（臨時会）議案（その1）の8ページをお開きください。

今回の補正は、歳入歳出それぞれ1億5000万円を追加するもので、これに既決予算額3億6632万1000円を加えますと、改予算額は5億1632万1000円となります。

歳入の一般会計繰入金1億2000万円は、沖縄振興特別推進交付金相当額で、県債の3000万円は、事業費の2割相当額を計上しております。

沖縄21世紀ビジョン基本計画において、中城湾港については、産業支援港湾としての機能の充実・強化を図るため、定期船就航の実現等により、物流拠点の形成を推進するなどの必要な整備を図るとしてあります。

現在、新港地区においては、20フィートコンテナに対応したクレーンがないことが、物流コストが割高になる要因にもなっており、企業からも20フィートコンテナに対応した荷役機械の設置及び低価格貸し付けの要望が寄せられております。

物流コストの低減、新港地区における貨物取扱量の増加、企業立地促進という沖縄振興に資する荷役機械を新港地区に配置する必要があります。

このため、今回補正予算にて、20フィートコンテナに対応可能なタイヤクレーンの購入費用を計上するものであります。

私の説明は終わりますが、配付しました資料について、港湾課の真栄里計画調査班長より説明したいと思います。

○真栄里嘉孝港湾課計画調査班長 資料につきましては、土木環境委員会説明資料（甲第2号議案について）でございます。

1 ページをお開きください。

中城湾港新港地区の航空写真でございます。購入するクレーンにつきましては、左端の西埠頭に配置する計画になっております。クレーン配置箇所ということで赤の四角で表示されております。クレーンにつきましては、新港地区及び背後の企業等から設置要望がございます。資料の中の配送拠点箇所というものがあありますが、これは定期船就航実証実験に合わせて、新たに久米島の企業が配送拠点を設けたものとなっております。

2 ページをお開きください。

黒で表示されたのが実証実験の航路となっており、1週間に1便の運航となっております。鹿児島県から那覇港を経由するルートが示されております。コンテナの輸送は10フィートコンテナを利用して、実証実験では55トンクレーンをリースし、荷役作業が行われております。

赤の破線で示されているのは、久米島の企業が特産品を中城の新港地区を配送する航路案となっておりますが、久米島の企業が1週間に1便の割合で20フィートコンテナを利用し、水のペットボトルを県内及び本土へ輸送する計画となっており、120トンクレーンを配置し、物流コストの低減を図ることは産業振興に大きく寄与するものと考えております。

3 ページをお開きください。

クレーンの参考写真となっております。

説明は以上でございます

○当間清勝土木建築部長 以上で、議案の説明を終わります。

御審査のほど、よろしくお願い申し上げます。

○當山眞市委員長 土木建築部長の説明は終わりました。

これより、甲第2号議案平成24年度沖縄県中城湾（新港地区）整備事業特別会計補正予算（第1号）に対する質疑を行います。

なお、質疑・答弁に当たっては、挙手により委員長の許可を得てから行い、重複することがないように簡潔にお願いします。

質疑はありませんか。

嘉陽宗儀委員。

○嘉陽宗儀委員 民間業者に貸し出しする場合の貸出料金は決まっているのですか。

○真栄里嘉孝港湾課計画調査班長 貸し出しの料金につきましては、今後詳細に詰めていくこととしておりますが、考え方としましては、購入費用が1億5000万円ございます。うち国費が1億2000万円、特別会計で3000万円でございますので、この3000万円を基準に耐用年数等と考慮し、必要な貸し付け、維持管理費等がございますので、それを勘案して貸付料金を算定していきたいと考えております。

○嘉陽宗儀委員 那覇市安謝の那覇新港と比べて、料金がアンバランスだと不平不満が出てきます。それは考えているのですか。

○真栄里嘉孝港湾課計画調査班長 まず現在、新港地区におきましては定期船が就航しておりませんので、できるだけ安く貸し付けて、運航の支援となるように検討していきたいと考えておりますので、安く貸し付けていきたいと考えているところでございます。

○嘉陽宗儀委員 前も、バースを使う場合でも新港地区と那覇新港は違うのではないかということが問題になっていたもので、私は今、それを気にして、不公平感があると困るので、利用する皆さん方が納得できるような料金体系はちゃんと検討してください。

○當山眞市委員長 ほかに質疑はありませんか。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

○當山眞市委員長 質疑なしと認めます。

よって、甲第2号議案に対する質疑を終結いたします。

次に、甲第3号議案平成24年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計補正予算(第1号)に対する審査を行います。

ただいまの議案について、土木建築部長の説明を求めます。

当間清勝土木建築部長。

○当間清勝土木建築部長 甲第3号議案平成24年度沖縄県中城湾港マリン・タ

ウン特別会計補正予算（第1号）について、その概要を御説明申し上げます。

こちらの補正も、沖縄振興特別推進交付金を活用するもので、沖縄本島東海岸の海洋性レジャーの拠点となる与那原マリーナを整備するものであります。

平成24年第2回沖縄県議会（臨時会）議案（その1）の11ページをお開きください。

今回の補正は、歳入歳出それぞれ8億9320万円を追加するもので、これに既決予算額8億5675万9000円を加えますと、改予算額は17億4995万9000円となります。

歳入の一般会計繰入金7億1456万円は、沖縄振興特別推進交付金相当額で、県債1億7860万円は、事業費の2割相当額を計上しております。

マリーナの整備は、平成25年度までの2カ年事業を予定しており、平成26年4月ごろに供用を開始する予定としております。

沖縄21世紀ビジョン基本計画において、中城湾港西原与那原地区についても、質の高い海洋レクリエーション環境を創出するため、観光拠点としてのマリーナ・人工ビーチ等の整備に取り組むと位置づけられております。

中城湾港マリンタウンプロジェクトにおける主要施設の整備はほぼ完了しており、残る整備はマリーナのみでございます。

マリーナ整備については、県の財政状況が厳しいことから、平成21年度以降、起債での整備は保留としておりました。

今回、沖縄振興一括交付金を活用し、ボートヤードや管理棟及び駐車場等の整備、ヨット・モーターボート等を保管する浮き桟橋の設計を行うため、補正予算にてマリーナ整備費用を計上するものであります。

私の説明は終わりますが、配付しました資料について、港湾課の村田港湾開発監より説明したいと思います。

#### ○村田和博港湾課港湾開発監 参考資料の説明をいたします。

1ページをお開きください。

写真は平成23年10月時点の写真でございます。

埋立造成は既に完了しておりまして、マリーナ外郭の防波堤や水域についても既に完成しております。左上の西原マリンパークはきらきらビーチを含めて既に供用しておりまして、年間約50万人以上の来場者があり、野外コンサート等でもにぎわっております。写真手前の住宅用地の分譲も進みまして、マリンタウン内の人口は年々増加しております。現在3000名を超えており、ここで働く就業者数についても1000名を超えております。

2ページをお開きください。

土地利用計画図でございます。右上のシンボル緑地は昨年度整備を終えておりまして、現在芝の養生中で、平成25年度の供用開始予定でございます。その下の住宅用地、平成25年度までに整備を終えて、平成26年度から分譲予定でございます。マリーナの前面の与那原船だまりにつきましても、既に完成しておりまして、シンボル緑地とあわせて平成25年度から西原・与那原マリパークとして指定管理に加えるため、次の6月議会で条例改正を予定しております。今回のマリーナにつきましても、完成次第、指定管理区域に加えていく考えでございます。

3ページをお開きください。

今回のマリーナの計画図でございます。右上に収容能力を示してございます。平成24年度の主な整備といたしましては、陸置きのボートヤードが143隻分、中央にございます管理棟1棟、管理棟の左側にございます駐車場、これが218台収用予定でございます。海上係留の70隻の浮き棧橋につきましても、今年度設計を行いまして、平成25年度に整備を行う予定でございます。

資料の説明は、以上でございます。

○当間清勝土木建築部長 御審査のほど、よろしくお願い申し上げます。

○當山眞市委員長 土木建築部長の説明は終わりました。

これより、甲第3号議案平成24年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計補正予算（第1号）に対する質疑を行います。

なお、質疑・答弁に当たっては、挙手により委員長の許可を得てから行い、重複することがないように簡潔にお願いします。

質疑はありませんか。

大城一馬委員。

○大城一馬委員 ようやく供用開始に向けて動いたということで評価をします。ぜひしっかりとした整備計画をもって、やっていただきたいと思っております。

そこで、これは平成26年度の供用開始ということで土木建築部長からの説明がありましたが、今回の予算以外に、例えば今後の整備計画があるのかどうか。

○村田和博港湾課港湾開発監 今回2年間で213隻の収用予定のマリーナを計画してございますが、マリーナの当初予定は、505隻の収用予定の計画となっております。ただ、これにつきましても、今回の213隻の整備をいたしまし



て、今後の需要動向を見ながら整備を進めていこうと考えております。それと、先ほど言いました約500隻の中には、小型艇を中心に整備計画がございますが、現在、宜野湾マリーナとか糸満フィッシャリーナあたりでは大型艇の要望が多くて、その辺も勘案して、隻数については今後検討していきたいと考えております。

**○大城一馬委員** 今、与那原町もマリーナを核としたまちづくり、こういった分厚い整備事業計画が与那原町として検討されているわけです。この中でホテル用地とか、コンドミニアム用地とか、あるいは文化交流施設、約19万坪ぐらいの県有地があります。今、県としては企業ニーズ調査に入っていることでもあります。この企業ニーズ調査の進捗具合はどうなっていますか。やはりこの土地利用とマリーナは一体的にやらないと、これは将来においても非常に厳しいなという気がします。そういうところで、今現在は企業ニーズ調査がどうなっているのか。

**○村田和博港湾課港湾開発監** 今、お話のございました、昨年度企業ニーズ調査アンケートの実施をいたしまして、意向に関しまして114社ほどマリントウンに興味を示している企業がございます。ただ、これまで7.9ヘクタールというホテル用地を一括しての分譲を予定していたものですから、これは企業ニーズ調査を踏まえて、区画割りを地元の与那原町と調整して、企業誘致を進めていこうと考えています。この企業ニーズ調査のアンケートの中で、やはりホテル等々、商業用地等々、マリーナ関連の要請が結構ございますので、マリーナと国道のバイパス、まず今回マリーナの予算を確保いたしまして、マリーナ整備を進めていけば、企業誘致にも拍車がかかるものと考えております。

**○大城一馬委員** 今の計画ではホテル用地となっています。当然、これは今後土地利用計画の見直し、変更もあり得るということによろしいですか。

**○村田和博港湾課港湾開発監** 今の見直しですが、ホテル用地は当然確保して、前面側、臨港道路に面した側はホテル用地、人工ビーチと一体となった、マリーナと一体となったホテル用地の確保と、マリーナと一体となったような商業用地の確保は進めていく予定でございます。

**○當山眞市委員長** ほかに質疑はありませんか。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

○**當山真市委員長** 質疑なしと認めます。

以上で、甲第3号議案に対する質疑を終結いたします。

説明員の皆さん、大変御苦勞さまでした。

どうぞ御退席ください。

休憩いたします。

(休憩中に、執行部退席)

○**當山真市委員長** 再開します。

議案の質疑についてはすべて終結し、採決を残すのみとなっております。

休憩いたします。

(休憩中に、議案の採決の順序及び方法について協議)

○**當山真市委員長** 再開します。

これより議案の採決を行います。

甲第2号議案及び甲第3号議案の予算議案2件を一括して採決いたします。

お諮りいたします。

ただいまの議案2件は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○**當山真市委員長** 御異議なしと認めます。

よって、甲第2号議案及び甲第3号議案の2件は、原案のとおり可決されました。

次に、お諮りいたします。

ただいま採決いたしました議案等に対する委員会審査報告書の作成等につきましては、委員長に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○**當山真市委員長** 御異議なしと認めます。

よって、さよう決定いたしました。

以上で、本委員会に付託された議案等の処理はすべて終了いたしました。  
本日の委員会は、これをもって散会いたします。

沖縄県議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

委員長 當山真市